

## 1. 法人の概要

様式1-1

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構		企画調整局
〔住 所〕 〒650-0047 神戸市中央区港島南町2丁目2番 先端医療センター内		〔電 話〕 078 (306) 1700 〔F A X〕 078 (306) 1708
〔ホームページアドレス〕 <a href="http://www.fbri-kobe.org">http://www.fbri-kobe.org</a>		
〔設立年月日〕 平成12年3月17日	〔基本財産又は資本金〕 〔基本財産〕 1,232,484千円〔総出捐金額〕 1,227,780千円 (本市出捐 1,140,280千円 92.87%)	
〔設立目的〕 21世紀の成長産業として期待されている健康・福祉・医療関連産業の振興を図ることによって、新産業の創出・既存産業の高度化・雇用の確保による神戸経済の活性化、健康支援と高齢化社会への対応による市民福祉の向上、さらにはアジア諸国の医療技術の向上などの国際社会への貢献を目的とする神戸医療産業都市の中核的支援機関として、産官学医の連携・融合を促進する総合調整機能を担うとともに、先端医療の実現に資する研究開発及び臨床応用の支援、次世代の医療システムの構築を通じて、革新的医療技術の創出と医療関連産業の集積形成に寄与することを目的とする。		
〔主務官庁〕 —	〔市所管課・連絡先〕 企画調整局医療・新産業本部医療産業都市部	

2. 役職員の状況(株式会社以外)

様式1-2

【各年度7月1日現在】

		平成28年度					平成29年度					平成30年度					
		固有	市派遣	市OB	その他	計	固有	市派遣	市OB	その他	計	固有	市派遣	市OB	その他	計	
役員	評議員	常勤				0					0					0	
		非常勤		2		10	12		2		10	12		2		10	12
		計	0	2	0	10	12	0	2	0	10	12	0	2	0	10	12
	理事	常勤	3	1	1		5	4	1	1		6	3	1	1		5
		非常勤		1		8	9		1		8	9		2		7	9
		計	3	2	1	8	14	4	2	1	8	15	3	3	1	7	14
	監事	常勤					0					0					0
		非常勤				2	2				2	2				2	2
		計	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2
	役員計	常勤	3	1	1	0	5	4	1	1	0	6	3	1	1	0	5
		非常勤	0	3	0	20	23	0	3	0	20	23	0	4	0	19	23
		計	3	4	1	20	28	4	4	1	20	29	3	5	1	19	28
職員	常勤	287	16	4	24	331	286	13	5	27	331	223	9	1	7	240	

会計監査人	おいている
-------	-------

常勤役員等平均年間報酬(千円)	12,170
固有職員平均年間給与(千円)	4,475
固有職員平均年齢	42.3

} 平成29年度決算ベース

3. 主要事業の状況(平成29年度)

様式1-3

(単位:千円)

	事業1	事業2	事業3	事業4	事業5	
事業名	研究事業	クラスター事業	病院事業	臨床研究情報センター事業	細胞療法開発事業	
事業概要	先端医療の臨床研究や技術開発を行い、次世代の医療システムを構築するための研究推進事業。	再生医療シーズに対する総合的支援と、中小企業・進出企業支援によるバイオメディカルクラスター形成の推進。	標準医療では対応困難な病気を克服するための先端医療振興財団医療の提供。 平成29年11月中央市民病院へ統合。	臨床科学の基盤整備・推進事業。	細胞治療、細胞製剤製造事業、細胞評価事業の推進及び再生治療用製品の開発。	
事業実績	・再生医療の研究開発の推進、映像医療を用いた新規診断法の開発、医薬品開発の推進、先制・予防医療の研究開発の推進、免疫機構の解明及び制御に関する研究の推進。	・神戸クラスター進出企業・地元中小企業の事業化に関する相談業務:159件 ・医療機器サポートプラザ相談件数:106件	・延べ患者数 入院 7,497名(37.1名/日) 外来 10,478名(76.0名/日) ・治験受託件数:33件	・臨床試験支援件数:146件 ・橋渡し研究の推進・管理 ・医療・臨床研究情報の発信	小児性B型白血病治療用の細胞製造業務及び企業・大学・国からの細胞培養施設に関するコンサルティング業務等。また、軟骨再生、角結膜再生の治験実施。	
ミッションとの関わり	あり	あり	あり	あり	あり	
ミッションNo.	1	2.3	1	1	1	
公益 / 収益	公益	公益	公益	公益	公益	
自主・補助・委託・指定管理の別	指定管理	補助	一部補助	一部補助	自主	
競争の有無(委託・指定管理)	あり	あり	なし	なし	なし	
収 益 (A)	市からの委託料等	6,482	250	0	0	0
	市からの補助金	0	385,110	14,783	6,000	0
	使用料	91,012	0	0	0	0
	その他	922,021	130,309	2,357,209	1,205,963	1,215,032
	合計	1,019,515	515,669	2,371,992	1,211,963	1,215,032
費 用 (B)	人件費	199,094	194,262	575,793	701,486	307,782
	物件費	682,639	288,365	1,718,536	684,584	803,594
	減価償却費	131,383	48,841	46,284	35,386	159,508
	支払利息	0	110	518	2	3
	その他	0	0	0	0	0
合計	1,013,116	531,578	2,341,131	1,421,458	1,270,887	
損益(A-B)	6,399	△ 15,909	30,861	△ 209,495	△ 55,855	

3. 主要事業の状況(平成29年度)

様式1-3

(単位:千円)

	事業6	事業7			
事業名	PET治験薬製造受託事業	賃貸事業			
事業概要	治験用PET薬剤製造受託業務	不動産賃貸事業			
事業実績	・治験薬製造受託収入:279百万円	・不動産賃貸収入:204百万円			
ミッションとの関わり	あり	あり			
ミッションNo.	1	2			
公益 / 収益	収益	収益			
自主・補助・委託・指定管理の別	自主	自主			
競争の有無(委託・指定管理)	なし	なし			
収 益 (A)	市からの委託料等	0	0		
	市からの補助金	0	0		
	使用料	0	4,033		
	その他	281,404	211,459		
	合 計	281,404	215,492		
費 用 (B)	人件費	4,750	2,015		
	物件費	255,561	129,085		
	減価償却費	11,145	45,938		
	支払利息	0	0		
	その他	0	0		
合 計	271,456	177,038			
損 益(A-B)	9,948	38,454			

## 4. 市の財政的関与

様式1-4

(単位:千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
補助金		395,009	414,179	405,928
負担金等(※1)		1,500,000	1,500,000	1,500,000
委託料等	競争なし	250	250	250
	競争あり	5,740	3,165	6,482
	うち指定管理 非公募	0	0	0
	公募	5,740	3,165	6,482
貸付金残高		0	0	0
債務保証等残高		3,300,000	3,300,000	3,300,000

※1 分担金・負担金・出捐金(寄附)を含む

5. 財務状況（株式会社以外）

様式1-5

(単位：千円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	28 → 29増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	▲ 22,297	26,772	▲ 166,538	▲ 193,310
		経常収益	8,133,620	8,707,225	7,066,620	▲ 1,640,605
		うち公益	7,440,819	7,858,797	6,267,139	▲ 1,591,658
		うち公益以外	692,801	848,428	799,481	▲ 48,947
		経常費用	8,153,323	8,679,705	7,232,759	▲ 1,446,946
		うち事業費（公益）	7,483,617	7,976,078	6,461,338	▲ 1,514,740
		うち事業費（公益以外）	339,577	402,945	448,494	45,549
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	330,129	300,682	322,927	22,245
		評価損益等	▲ 2,594	▲ 748	▲ 399	349
	当期経常外増減額	▲ 2,387	▲ 1,083	174,553	175,636	
	経常外収益	10,064	0	744,457	744,457	
	経常外費用	12,451	1,083	569,904	568,821	
	法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	
	当期一般正味財産増減額	▲ 24,684	25,689	8,015	▲ 17,674	
	一般正味財産期首残高	▲ 2,116,442	▲ 2,141,126	▲ 2,115,437	25,689	
	一般正味財産期末残高	▲ 2,141,126	▲ 2,115,437	▲ 2,107,422	8,015	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	432,752	54,519	▲ 281,606	▲ 336,125
		指定正味財産増加額	666,115	1,010,456	725,809	▲ 284,647
		指定正味財産減少額	233,363	955,937	1,007,415	51,478
うち一般正味財産への振替額		233,363	955,257	1,007,412	52,155	
指定正味財産期首残高		4,784,928	5,217,680	5,272,199	54,519	
指定正味財産期末残高		5,217,680	5,272,199	4,990,593	▲ 281,606	
正味財産期首残高	2,668,486	3,076,554	3,156,762	80,208		
当期正味財産増減（※）	408,068	80,208	▲ 273,591	▲ 353,799		
正味財産期末残高	3,076,554	3,156,762	2,883,171	▲ 273,591		
貸借対照表（B/S）	資産合計	9,367,790	9,121,140	7,426,101	▲ 1,695,039	
	流動資産	2,048,831	1,889,663	914,863	▲ 974,800	
	固定資産	7,318,959	7,231,477	6,511,238	▲ 720,239	
	うち建物	1,680,023	1,641,058	1,435,596	▲ 205,462	
	負債合計	6,291,234	5,964,377	4,542,929	▲ 1,421,448	
	流動負債	5,937,756	5,696,134	4,464,394	▲ 1,231,740	
	うち短期借入金	3,890,000	3,835,000	3,780,000	▲ 55,000	
	固定負債	353,478	268,243	78,536	▲ 189,707	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	3,076,554	3,156,762	2,883,171	▲ 273,591	
指定正味財産	5,217,680	5,272,199	4,990,593	▲ 281,606		
一般正味財産	▲ 2,141,126	▲ 2,115,437	▲ 2,107,422	8,015		

(単位：千円)

主な経常費用	平成27年度	平成28年度	平成29年度	28 → 29増減
人件費	2,558,941	2,591,325	1,985,181	▲ 606,144
減価償却費	577,171	548,917	478,486	▲ 70,431

※ [平成29年度・当期正味財産増減] が赤字の場合は理由を記載してください (50字程度)

先端医療センター病院の中央市民病院への統合に伴う治験・臨床研究を継承するにあたり、企業寄附等の研究費を移管。(経常外費用：雑損失488,290千円、うち325,280千円)

## 6. 経営指標(株式会社以外)

様式1-6

経営指標				平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比増減	経営指標に関する分析・評価
健全性	正味財産比率	正味財産/資産*100	法人の財政状態の健全性、長期的な安定性(支払能力)を示すもの。数値が大きいほど望ましい。	32.8%	34.6%	38.8%	4.2ポイント	<p>病院事業については、診療開始までの初期投資や開院当初の患者数の低迷により、赤字が累積し、短期借入金が増加(H29末に約38億)したことから、流動比率や借入金比率は望ましくない比率となっている。</p> <p>・病院事業についてはH29.10月末で終了し、今後は赤字体質から脱却出来る見込である。</p> <p>・今後は短期借入金の圧縮の為、収益事業の拡大や事務の効率化による経費削減に取り組む予定である。</p>
	流動比率	流動資産/流動負債*100	法人の短期の支払能力を示すもの。200%以上であることが望ましい。ただし、資産の内容によっては、数値がそのまま支払能力を示さない場合もある。	34.5%	33.2%	20.5%	-12.7ポイント	
	固定比率	固定資産/正味財産*100	財務の安定性を示すもの。固定資産がどの程度自己の資本でまかなわれているかを示す。数値が低いほど望ましい。	237.9%	229.1%	225.8%	-3.2ポイント	
	借入金比率	借入金残高/資産*100	法人の財源がどの程度借入金によりまかなわれているかを示す。数値が大きければ利息負担も大きい。業態によって望ましい数値は異なる。	41.5%	42.0%	50.9%	8.9ポイント	
採算性	収支比率	経常費用/経常収益*100	収入と支出のバランスを示すもの。100%を超過している場合は、通常の事業活動で赤字になっていることを示す。	100.2%	99.7%	102.4%	2.7ポイント	病院統合の影響により一時的に費用が拡大したことから2.7ポイント増となっているが、H30以降は100%未満となる見込。
効率性	人件費比率	人件費/経常収益*100	収益をあげるにあたりどれだけの人件費がかかっているかを示す。数値が高ければ経営を圧迫する可能性があるが、低ければ職員の士気が下がる可能性がある。	31.5%	29.8%	28.1%	-1.7ポイント	人件費及び管理費の割合については概ね適切な水準であると考えている。
	管理費比率	管理費/経常収益*100	収益をあげるにあたりどれだけの間接経費がかかっているかを示す。数値が低いほど効率が良いこととなり望ましい。	4.1%	3.5%	4.6%	1.1ポイント	
自立性	市財政的関与比率	(市補助+随契委託)/経常収益*100	通常の事業活動にしろ本市からの収入の比率を示す。数値が高いほど市との関係性が強い。	4.9%	4.8%	5.7%	1.0ポイント	先端医療センター病院の中央市民病院への統合に伴い、公3会計の事業規模が大幅に減少したことにより、市財政的関与比率が1.0ポイント上昇しているが、全体的には低い水準である。
	市借入金依存度	市借入金/資産*100	資産にしろ本市からの借入金の比率を示す。数値が高いほど市との関係性が強い。	0.0%	0.0%	0.0%	0.0ポイント	
その他	公益事業比率	公益事業費用/経常費用*100	事業全体のうち、公益事業をどの程度行っているかを示す。数値が高いほど公益事業を行っていると言えるが、公益事業の財源を確保するために収益事業を行うことも想定されている。公益法人であれば、50%を切ることは望ましくない。	91.8%	91.9%	89.3%	-2.6ポイント	概ね横ばい。公益事業比率は高水準で推移しており、公益法人の要件を満たしている。